

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 栄研化学株式会社

コード番号 4549 URL <http://www.eiken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 寺本 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 渡辺 裕之

TEL 03-5846-3379

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,927	2.7	624	10.2	656	14.5	343	13.6
21年3月期第1四半期	6,745	—	566	—	573	—	302	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	18.91	18.89
21年3月期第1四半期	15.13	15.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	28,269	18,665	65.8	1,024.62
21年3月期	27,895	18,407	65.8	1,010.84

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 18,606百万円 21年3月期 18,349百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	10.00	25.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		12.00	—	13.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	13,930	3.5	1,293	11.0	1,347	0.1	777	6.3	42.79
通期	26,780	2.6	1,940	6.1	2,000	△1.5	1,140	0.3	62.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 21,770,719株 21年3月期 21,770,719株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,611,663株 21年3月期 3,617,656株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 18,154,036株 21年3月期第1四半期 19,977,485株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響による急速な経済の悪化を背景とした企業収益の大幅な落ち込みによって、生産活動の縮小、設備投資の減少、雇用情勢の悪化など、依然として厳しい環境が継続いたしました。

臨床検査業界におきましては、高齢化の進行に加えて、平成20年4月から始まった特定健康診査（糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査）など、治療を主体とする医療から予防を重視した医療の拡充により、検査の需要は底堅く推移し、景気の落ち込みによる影響は軽微なものにとどまりました。しかしながら、医療費抑制策の継続基調は変わらず、医療施設数の減少や価格競争の激化など臨床検査市場は大きな伸びを期待しづらくなか、業界内の競争は一段と厳しくなり、一層の経営の効率化と合理化が求められる状況となっております。

このような情勢下にあつて、当社グループは、新経営構想として策定した“EIKEN ROAD MAP 2009”の方針に基づいて、経営のスピード化及び生産性の向上を積極的に実施し、国内市場での主力製品の売上拡大、新製品展開に努めるとともに、国内と海外の営業管理体制やマーケティング機能を一本化するなど、グローバル市場に大きく踏み出していくための営業体制を整備し、海外市場への販売拡大を図ってまいりました。

これらの結果といたしまして、当第1四半期における売上高は69億27百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

製品の種類別区分ごとの売上高では、細菌学的検査用試薬は、価格低下及び競争激化の影響により伸び悩み11億32百万円（同1.3%減）、一般検査用試薬は、尿試験紙「ウロペーパー」の売上が堅調に推移し5億28百万円（同6.7%増）、免疫血清学的検査用試薬は主力製品の便潜血検査用試薬及び東ソー株式会社から導入・販売している医療機器の専用試薬（AIA関連試薬、HbA1c試薬）が堅調に推移し39億39百万円（同4.5%増）、生化学的検査用試薬は価格競争激化、分析装置の進歩による試薬使用量の減少の影響により2億31百万円（同6.1%減）、器具・食品環境関連培地は価格競争激化の影響はあるものの堅調に推移し6億78百万円（同2.7%増）、その他（医療機器・遺伝子関連等）は遺伝子関連の販売が伸びたものの医療機器が伸び悩み4億16百万円（同1.7%減）となりました。

なお、海外向け売上高は米国及び欧州向け便潜血検査用試薬・装置が売上を伸ばし、3億44百万円（同9.8%増）となりました。

費用面では、製造原価の低減に努めましたが、仕入商品など原価率の比較的高い製品の販売が増加する傾向が続いており、売上原価率は前年同期比1.4ポイント上昇いたしました。販売費及び一般管理費については、経費の効率的な使用に努め、前年同期比3.2%削減いたしました。

その結果、営業利益は6億24百万円（同10.2%増）、経常利益は6億56百万円（同14.5%増）、四半期純利益は3億43百万円（同13.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ総資産は3億73百万円の増加、負債は1億15百万円増加、純資産は2億58百万円増加いたしました。自己資本比率は前連結会計年度末とほぼ同等の65.8%となりました。

増減の主なものとして、資産の部では、主に配当金、賞与及び法人税等の支払いにより、現金及び預金が8億96百万円減少いたしました。また、売上の増加により受取手形及び売掛金が11億79百万円増加、粉末培地の生産設備の新設等により有形固定資産が2億47百万円増加いたしました。負債の部では、賞与及び法人税等の支払いがあったことにより、賞与引当金が3億40百万円、未払法人税等が2億12百万円それぞれ減少いたしました。純資産の部では、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が1億60百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が5億97百万円となりましたが、主に売上債権の増加により、前連結会計年度末に比べ8億96百万円減少し45億21百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、5億46百万円の減少となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が5億97百万円となりましたが、売上債権の増加により11億79百万円の減少、賞与引当金の減少により3億40百万円の減少があったことによります。

なお、減価償却費は2億14百万円、発生いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1億66百万円の減少となりました。これは主に、生産設備等の設備投資による支出が2億53百万円あったこと、長期預金の払戻による収入が1億円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1億86百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払額が1億81百万円あったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね当初予想どおりに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成21年4月27日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,521	5,418
受取手形及び売掛金	8,862	7,683
有価証券	166	156
商品及び製品	2,880	3,110
仕掛品	1,110	1,197
原材料及び貯蔵品	745	737
その他	888	604
貸倒引当金	△0	△15
流動資産合計	19,174	18,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,734	12,409
減価償却累計額	△8,876	△8,785
建物及び構築物（純額）	3,857	3,623
機械装置及び運搬具	5,148	5,107
減価償却累計額	△4,261	△4,279
機械装置及び運搬具（純額）	886	828
工具、器具及び備品	2,814	2,812
減価償却累計額	△2,489	△2,462
工具、器具及び備品（純額）	324	350
その他	1,228	1,248
有形固定資産合計	6,297	6,050
無形固定資産	460	465
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,404	2,494
貸倒引当金	△8	△7
投資損失引当金	△58	—
投資その他の資産合計	2,336	2,487
固定資産合計	9,095	9,003
資産合計	28,269	27,895

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,134	5,127
未払法人税等	299	512
賞与引当金	328	668
返品調整引当金	4	5
その他	2,402	1,725
流動負債合計	8,168	8,038
固定負債	1,435	1,450
負債合計	9,603	9,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,897	6,897
資本剰余金	7,892	7,892
利益剰余金	7,196	7,035
自己株式	△3,431	△3,437
株主資本合計	18,554	18,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30	10
為替換算調整勘定	21	△48
評価・換算差額等合計	51	△38
新株予約権	59	57
純資産合計	18,665	18,407
負債純資産合計	28,269	27,895

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	6,745	6,927
売上原価	3,839	4,038
売上総利益	2,905	2,888
販売費及び一般管理費	2,339	2,264
営業利益	566	624
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	2	4
デリバティブ評価益	—	9
受取ロイヤリティー	3	—
補助金収入	—	17
その他	4	12
営業外収益合計	12	46
営業外費用		
支払利息	—	0
為替差損	4	12
その他	1	1
営業外費用合計	6	14
経常利益	573	656
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	12
償却債権取立益	9	—
その他	1	—
特別利益合計	10	12
特別損失		
固定資産除売却損	3	13
投資損失引当金繰入額	—	58
本社移転費用	57	—
その他	7	—
特別損失合計	67	72
税金等調整前四半期純利益	516	597
法人税等	214	254
四半期純利益	302	343

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	516	597
減価償却費	195	214
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△13
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	—	58
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△314	△340
受取利息及び受取配当金	△4	△6
支払利息	0	0
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	△9
固定資産除売却損益 (△は益)	3	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,169	△1,179
たな卸資産の増減額 (△は増加)	23	309
仕入債務の増減額 (△は減少)	358	7
その他	127	261
小計	△263	△86
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△542	△466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△800	△546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△175	△253
無形固定資産の取得による支出	△3	△7
投資有価証券の取得による支出	△199	—
長期預金の払戻による収入	—	100
その他	△5	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△302	△181
その他	0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302	△186
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,490	△896
現金及び現金同等物の期首残高	6,674	5,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,184	4,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは、検査薬事業のみの単一セグメントとなるため、事業の種類別セグメント情報の記載は省略しております。

②所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(生産、受注及び販売の状況)

当社グループは、検査薬事業のみの単一セグメントとなるため、生産、受注及び販売の状況については製品の種別区分ごとに記載しております。

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を製品の種別区分ごとに示すと、次のとおりであります。

製品の種別区分の名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同期比 (%)
細菌学的検査用試薬 (百万円)	904	97.9
一般検査用試薬 (百万円)	435	95.4
免疫血清学的検査用試薬 (百万円)	1,537	88.7
生化学的検査用試薬 (百万円)	20	87.4
器具・食品環境関連培地 (百万円)	309	84.6
その他 (百万円)	14	30.7
合計 (百万円)	3,222	90.8

(注) 1. 金額は、売価換算値で表示しております。

2. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間における商品仕入実績を製品の種別区分ごとに示すと、次のとおりであります。

製品の種別区分の名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同期比 (%)
細菌学的検査用試薬 (百万円)	85	52.6
一般検査用試薬 (百万円)	0	2,696.7
免疫血清学的検査用試薬 (百万円)	1,450	111.7
生化学的検査用試薬 (百万円)	108	126.6
器具・食品環境関連培地 (百万円)	263	105.1
その他 (百万円)	394	83.0
合計 (百万円)	2,302	101.3

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

生産計画による見込生産を行っているため、受注生産は行っておりません。

(4) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を製品の種類別区分ごとに示すと、次のとおりであります。

製品の種類別区分の名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同期比 (%)
細菌学的検査用試薬 (百万円)	1,132	98.7
一般検査用試薬 (百万円)	528	106.7
免疫血清学的検査用試薬 (百万円)	3,939	104.5
生化学的検査用試薬 (百万円)	231	93.9
器具・食品環境関連培地 (百万円)	678	102.7
その他 (百万円)	416	98.3
合計 (百万円)	6,927	102.7

(注) 1. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
㈱スズケン	999	14.8	1,018	14.7
アルフレッサ㈱	798	11.8	866	12.5
東邦薬品㈱	841	12.5	841	12.1